
幽霊ハンター

メロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幽霊ハンター

【Nコード】

N4859J

【作者名】

メロ

【あらすじ】

幽霊ハンターが幽霊を蹴散らすぜ！

僕は幽霊ハンター、ケマル!!!

幽霊をぶっ殺すハンターなんですよ!

世の中には、悪い幽霊がいるんです!

そいつらをぶっ殺すのが僕の仕事なんです!

愛と勇気と希望があれば、悪い幽霊なんて簡単にぶっ殺せます!

今日も、悪い幽霊に困ってる人がいないかウナギのつかみ取りなどの後、町をパトロール!

こういう、地味な活動が世界を救う!

今、世界は悲鳴をあげている!

耳を澄ませば、聞こえてくるんだ!!!

イエイ!

「悪い幽霊に困っている人はいませんか?僕が悪い幽霊をけちらします!僕は強い!僕は、頭はおかしくくないです」

幽霊ハンターはいつも鍛えているのですごく強い!

筋肉がすごすぎる!

パワーがありすぎる!

こんなにパワーがある人なんていないんじゃないか?

毎日重い石を上げたり下げたりしているから、すごいパワーが体に宿った!

あと、悪魔のパワーも宿ったから!

でも、これくらいパワーがないと悪い幽霊には通用しない!

悪い幽霊はすごく強い!

「畜生!悪い幽霊がいない!」

悪い幽霊はあまりいない!

ムシヤクシヤする!

そんな時はコンビ二で休憩するんだ!

時には体を休めることも大事なんだ!

無理をすると、ストレスに心まで蝕まれる！

幽霊ハンターはコンビニで休憩！！！！

コンビニで暴れ放題！

売ってる物、食べ放題！

吐き放題！

イエー！

「いい、コンビニだ！幽霊もない」

幽霊ハンターくらいになると、一目で幽霊がいるかないかわかる！

幽霊ハンターはコンビニの中で、一眠りする！

疲れた時はこうやって寝る！

寝ると体の中のマジックエネルギーが高まって、霊パワーが活性化される！

8時間ほど寝たら目が覚めた！

8時間くらいが、霊的にはいい！

あまり眠りすぎると、首が痛くなる！

これは霊的な問題！

「幽霊ハンター！完全復活！！！！」

眠りから覚めた幽霊ハンターは怖いぜ！

視力も上がる！

どんな悪い幽霊も見えちゃう！

隠れてもわかる！

コンビニでジュースを買った！

喉が渴くと困るから！

喉が渴いて弱ったところを、悪い幽霊は見逃してはくれない！

油断をすれば、悪い幽霊にやられてしまう！

「幽霊を見つけよう」

幽霊が見つからなくて困った時は、インターネットで調べればいい！

インターネットはすごいから、なんでもわかる！

絶対に信用できる情報源！

幽霊ハンターの秘密アイテム、インターネット！！！！

「幽霊！インターネット！ロックオン！ていりやや」

インターネットは操作がすごく難しい！

でも幽霊ハンターは頭が絶好調にいいから、操作できる！

これは奇跡なんです！

インターネットで、幽霊の捕まえ方がわかった！

山に行つて、木に蜜を塗つて待つ！！！！

幽霊は甘い蜜に目が無い！

捕まえてみて、いい幽霊だったら友達になつて、悪い霊だったらマッハでぶつ殺す！

「蜜を買いにいかねばいけない」

蜜は甘くておいしい物で、スーパ―とかで売っている！！！！

スーパ―に買いに来た！！！！

スーパ―は広いので、歩いているとくたびれますね！

なんでですかね？

本当に嫌になりますね！

何もかもが嫌になる！

生きていると、こういう人生の壁にぶち当たる！

でも、あきらめちゃいけない！

人生はまだまだ長いんだからね！

「ちくしょう！蜜はどこなんだ！」

幽霊ハンターは蜜がなかなか見つからなくて、苦しんだ！

そしてカツとなつて、スーパ―の売り物を次々に床に叩きつけた！

床に売り物を叩きつけたら、少し気分が晴れた！

あと、火をつけた！！！！

恨みの炎！

幽霊ハンターを迷わせるところなのだ！！！！

「蜜！蜜はどこなんだ！僕は命を懸けて蜜を探しているんだぞ！」

幽霊ハンターはたまたま持っていた、ナタを振り回した！

ナイススイング！

メジャーでもトップクラスだね！

「いいスイングしてるね」

変な人が話しかけてきた！

「なんだ！この！」

幽霊ハンターのナタが炸裂した！

変な人は砕けた！

でも、元に戻ったから平気だった！

「お・・・おまえ！その、防御力！さてはバスの運転手か！」

こんなに防御力があるのは、バスの運転手しかない！

「違う！俺は、野球のスカウトだ」

野球のスカウトだった！

「野球のスカウトが俺に何のようだ！」

「すごいスイングだね！野球選手にならないか？お前ならすぐに一軍になれる」

野球選手にスカウトされた！

「しょうがねえ！やってやるよ」

野球選手になることにした幽霊ハンター！

野球選手の幽霊ハンターだ！

幽霊ハンターの野球選手ではないぞ！

間違えたら、ホームランを打つぞ！

「君は野球のルールを知ってるか？」

「殺してはいけない、もしくは殺されてはいけない」

これが野球のルールだ！

「野球にはもつと沢山のルールがあるぞ」

「ルールか」

ルールで縛らなければ、幽霊ハンターは野球の歴史を破壊してしまうのだ！

ここからは幽霊ハンタープロ野球編を楽しみしてくれ！

寝違えてすぐに引退するぞ！

幽霊のせいだ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4859j/>

幽霊ハンター

2010年10月11日17時33分発行